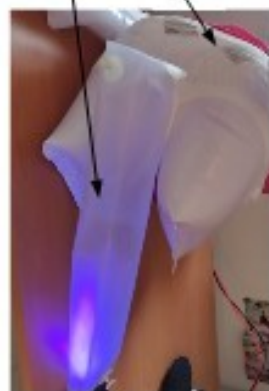


ICK1-P1をセキュリティモードで使用

1 医療機器の概要

ICK装置スペアパーツの説明



1. ボディの骨盤リフトブイ
2. 使い捨てコレクター
3. 空気圧駆動ユニット
4. 移動式ソフトベッドパン
5. 空気圧式尿ポンプ
6. コントロールボックス
7. 尿袋
8. ブイのフロント・フレキシブル・ファスナー
9. コレクターのフレキシブルファスナー
10. クロッチバンド（術後下着）
11. 使い捨てコレクターのダクト

2 介助者のための初回組み立て説明書（自宅のN°1）

：骨盤リフトブイを膨らませる

ベージュのバッグには、携帯用コントロールボックスと、圧縮空気または真空を注入するために医療機器の3つの空洞に接続する3つの空気圧コネクターが入っている。

ベージュのバッグには骨盤リフトブイ(1)も入っており、車椅子のシートと同じ色の布製カバーで覆われている。

コントロールボックス(6)と馬蹄形ブイ(1)を空気圧で接続した後、馬蹄形ブイ(1)を膨張させる。

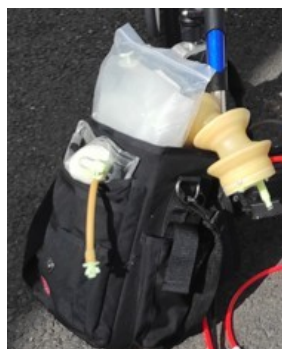


3 介助者(N°2 自宅)のための初期組み立て説明書：体の骨盤リフトブイにディスポーザブルコレクターを取り付ける。

使い捨てコレクター(2)は、使用者の骨盤を包む、防水用のプラスチックコーティングが施された繊維部分と、円筒形のガイドダクトから構成される。

この円筒形ダクトは、コレクターのフレキシブルファスナー (9) を使って馬蹄形ブイの両端に取り付けられる。この筒の目的は、移動式軟便器 (4) が肛門と肉垂の下の採取位置と、使用者の体を支えない位置との間を容易にスライドできるようにすることである。

使い捨てコレクターは、介助者が車椅子に乗っている人に付き添う際に持たなければならない黒い袋に収納されています。



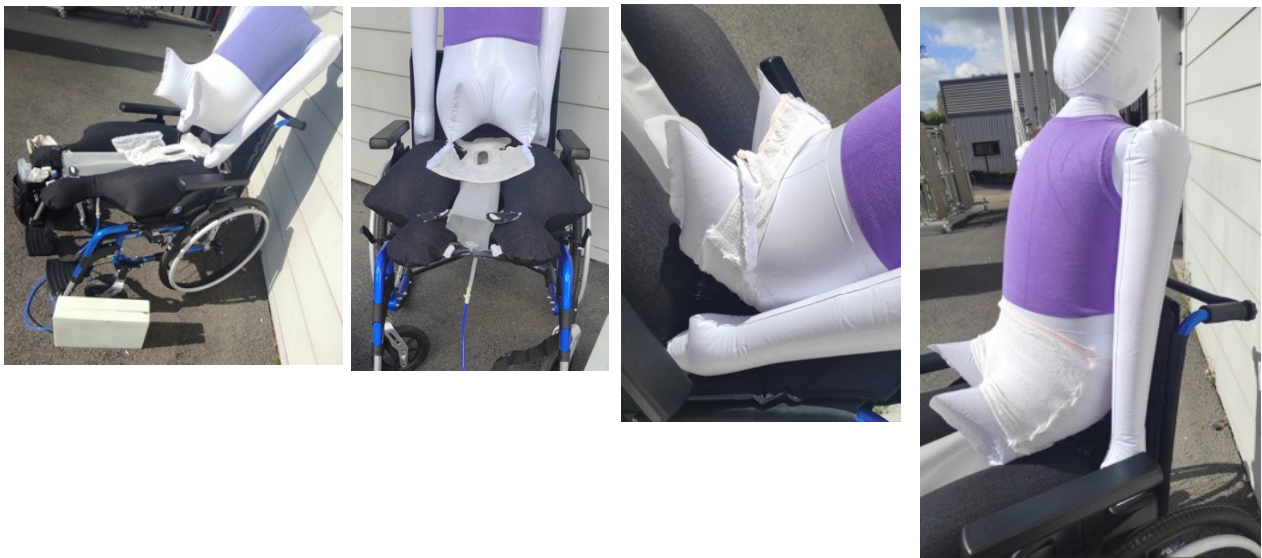
4 介助者のための初期組み立て説明（N°3 自宅）：

障害者の車椅子への移乗

リフトやその他の移乗器具を使って、介助者は障害者が膨張したブイに座るようにする。ニー・プッシャーと呼ばれるブイの前部分は、排泄の瞬間に大腿部を広げることができる。

ベルクロファスナーは、術後下着の外側のカバーとブリーフの接合に使用される。

利用者の骨盤を囲む繊維とプラスチックの部品が正しく装着され、装置の防水性と便や尿が可動式ソフトベッドパン(4)に収束するように位置決めされていることを確認した後、介助者は利用者の着衣を上から仕上げる。



5 介助者のための初期組み立て説明書（自宅のN°4）：
障害者の着替えを手伝い、ブイを膨らませて隠す。

障害者がトイレのない場所に外出する際に医療器具を隠せるようにするには、ブイの収縮機能を使い、見える部分をスカートやドレスの下にしまう必要がある。

このセーフティ・モードがあれば、長時間の外出が容易になる。



家庭外で排泄物を処理する必要がある場合

- 6 介助者のための組立説明書（N°5 屋外用）： **ブイのフレキシブル・フロント・ファスナー**を使用して空気圧式尿ポンプを取り付ける。

空気圧式尿ポンプ（5）は、電子部品に触れることなく尿を送り出すことができ、尿で汚れる可能性のある身体の近くで、電気を必要とせず、圧縮空気のみからエネルギーを受け取ることができる。

空気圧式尿ポンプ(5)はまた、空気圧式駆動装置(3)のアンカーポイントでもあり、軟質ベッドパン移動体を推進または牽引します。

空気尿ポンプ（5）の曲線状のサイドチューブは、ブイのフロントフレキシブルファスナー（8）という名前のフレキシブル中空ダクトに挿入する必要があります。

空気圧式尿ポンプをブイの前部可撓性ファスナー(8)に取り付けることにより、空気圧式尿ポンプ(5)をブイに取り付ける前または取り付けた後に、身体の骨盤リフトブイを膨らませることができる。

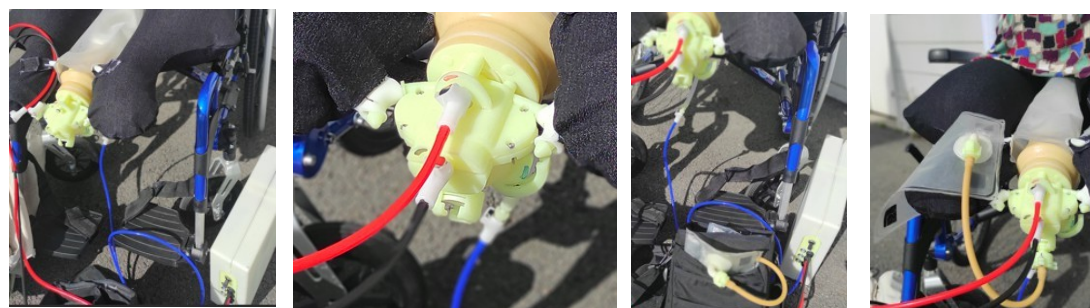


7 介助者のための組立説明書（N°6屋外用）：
抽出ユニット(3+4)を挿入し、空圧式尿ポンプ(5)で埋め込む

抽出ユニットは、空気圧駆動ユニット（3）と移動式ソフトベッドパン（4）の組み合わせで、互いに一体となっている。



8 介助者のための組立説明書（N°7屋外用）：
空気供給コネクタを空圧式尿ポンプに接続します（黒色のチューブ）
空気供給コネクタを空圧式駆動ユニットに接続します（オレンジ色のチューブ）
尿バッグを空圧式尿ポンプに接続します



9 介助者のための組立説明書（N°8屋外用）：

移動式ソフトベッドパンを肛門と肉壺の下の採取場所に移動する。

障害者は、自宅から付き添っている介護者によって支援されることもあれば、その場にいる人によって支援されることもある。

介助者は、利用者のスマートフォンやリモコン、音声コマンドを使って、移動式ソフトベッドパンを肛門と肉壺の下の回収位置に移動させてから、できるだけ目立たない場所に障害者の排泄のために置いていくことができる。



可動式ソフトベッドパン(4)の柔軟な延長部が肛門の左右の皮膚に触れ、ベッドパンの通過を触覚で知らせることで、より快適で穏やかな寝心地を提供する。

10 廃棄前、廃棄中、廃棄後の装置のユーザー管理（N° 9 屋外）：

ユーザーは、医療機器の5つの主な機能を、人の手を借りずにコントロールすることができます：

1. ボディの骨盤リフトブイを膨らませる(1)
2. 柔らかいベッドパン(4)を採取位置（肛門と肉壺の下）に移動する。
3. 移動式ソフトベッドパン(4)から尿を汲み上げ、尿バッグ(7)に排出する。
4. 移動式ソフト・ベッドパンを利用者の大腿部に向けて移動させる。
5. ボディの骨盤リフトブイを膨らませる（1）

移動式ソフトベッドパン(4)が便で満杯になるまで、複数回の排尿に対応することが可能である。この場合、医療機器は介助者が到着するまで機能しない。

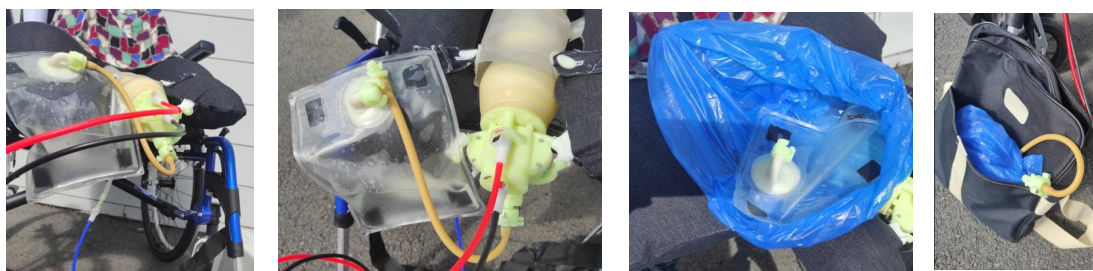
ICK1-P1医療機器の動作（採便・採尿）をご覧ください。



11 介助者のための分解説明書（N°10 屋外）：溜ま

った尿はトイレに捨ててください。

介助者は、注入チューブから充填された尿バッグ (7) をねじって分離する必要があります。
屋外で使用する場合：尿袋をトイレに空けた後、ゴミ袋に入れ、密封し、洗濯可能な身体用排泄物袋に入れることができる。



12 介助者のための分解説明書（N°11 outdoor）：便

の流れを処理する

まず、空圧式尿ポンプ（黒いチューブ）と空圧式ドライブユニット（オレンジ色のチューブ）の空圧コネクターを外します。

抽出ユニット（3+4）は、ラテックス製またはビニール製の手袋を使用してシリンダーガイドチューブから取り外し、廃棄用バッグに入れる。

ラテックス手袋を外したら、この廃棄物袋を密封し、同じ洗濯可能な身体用廃棄物袋に入れることができる。



13 介助者のための分解説明書（N°12 屋外）：

使い捨てコレクターを取り外し、親密な衛生習慣を実践する。

使い捨てコレクターを取り外すには、コレクター (9) の円筒状チューブの両端のフレキシブルファスナーのボタンを外します。背面のファスナーを外すのは簡単ではないので、鋭く引っ張ると破損する可能性があります。

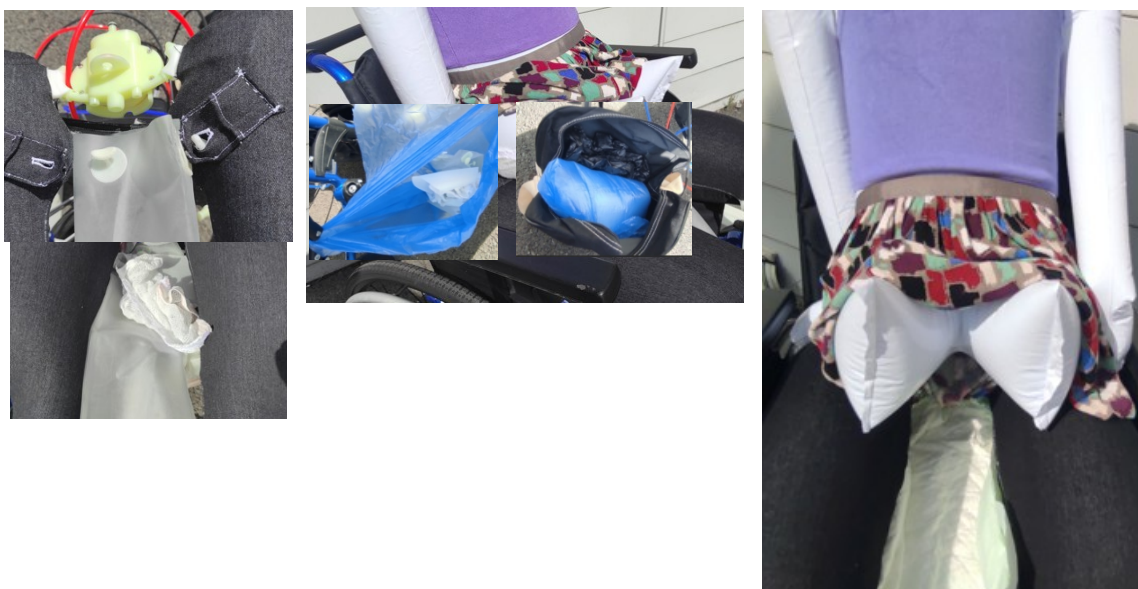
ファスナーが壊れたり、ボタンが外れたりしたら、スカートを持ち上げて、使い捨てコレクター(2)の繊維部分からベルクロのサイドファスナーを取り外す必要があります。

本体とブイから完全に切り離したら、回収器を廃棄物袋に入れる。

使い捨てコレクターが取り外されたら、車椅子のシートを保護するために使い捨てマットレスプロテクターを置く必要があります。

膨張した馬蹄形ブイ(1)の2本のアームの間に残された空間により、介助者は親密な部位の衛生管理を行うことができる。

この安全な使用方法は、外出先で不測の事態に対処でき、汚れたまま帰宅して恥ずかしい思いをしなくて済むことを意味する。



14 ICK医療機器の次期バージョンで予定されている改善点：調達した資金による

これらの改善はすべて技術的に可能である。

1. ボディの骨盤リフトブイを1分以内に膨らませる
2. コントロールボックス側と医療機器側の接続を1つにすることで、すべてのエアフローを1つの空気圧接続で実現。
3. 空圧式尿ポンプと空圧式ドライブユニットを再利用可能なスペアパーツに統合
4. この医療機器は、音声コマンドで操作することもできるし、スマートフォンを使いたくない人のために遠隔操作することもできる。
5. 脚の間に配置される剛性パーツのサイズと体積を減らす。フレキシブルパーツに埋め込む。
6. 天候や好みの服装に合わせて、医療器具を隠すためのさまざまな衣服を作成する。
7. 肥満の方に、より大きな回収能力を持つ移動式ソフト・ベッドパンを提供する。

これらの改良の一部は、レンタルで提供される座位モデルと寝たきりモデル（座位モデル／寝たきりモデル）で利用できる。

